

アムンディ独自の新たなリサーチ結果発表： ポートフォリオのパフォーマンスに好ましいインパクトをもたらす ESG スクリーニング

- アクティブ運用およびパッシブ運用の ESG 投資は、機関投資家からの需要拡大を受けて注目を集める
- 2014 年は ESG スクリーニングが先進国株式のアウトパフォーマンスを促す転機となり、北米市場では環境、ユーロ圏では企業統治に大きく影響
- ESG 関連への投資家の関心が需給関係にインパクトを与え始め、2014 年以降株価に好影響

2019年1月14日、ロンドン — 欧州最大の資産運用会社で責任投資のパイオニアであるアムンディは、ESG（環境、社会、企業統治）基準がポートフォリオ・パフォーマンスに与えるインパクトについて調査を実施しました。調査の目的は ESG 投資家の存在がポートフォリオ・パフォーマンスに何らかのインパクトを及ぼすか否かを判断することです。

世界中の機関投資家から ESG 投資への需要が拡大していることを受け、アムンディは 2010～2017 年の独自データを使用して、5 つの投資ユニバース（MSCI 指数：MSCI 北米、MSCI EMU、MSCI 欧州（EMU を除く）、MSCI 日本、MSCI ワールド）に含まれる 1,700 社のパフォーマンスを分析いたしました。

企業の業績と ESG 基準（環境、社会、企業統治の各スコアと総合 ESG スコア）を分析した結果、リターン、ボラティリティ、ドローダウンに対する ESG スクリーニングのインパクトは 3 つのファクター、すなわち観察期間、投資ユニバース、投資戦略に深く関わっていることがわかりました。結果を見ると、観察期間中には ESG スクリーニングはポートフォリオリスク（ボラティリティとドローダウン）にほとんどインパクトを与えていません。一方、ポートフォリオのリターンについては ESG スクリーニングのインパクトが極めて重要であることが明らかになりました。

総じて、2010～2013 年はパッシブ運用およびアクティブ運用の ESG 投資家にとって厳しい時期となりました。対照的に、2014～2017 年には ESG 投資は欧州と北米においてアウトパフォーマンスの原動力となりました。たとえば、この期間にベスト・イン・クラス（上位 20%）の株式を買い、ワースト・イン・クラス（下位 20%）の株式を売った場合、年率リターンは北米で 3.3%、ユーロ圏では 6.6%に達したことになります。一方、2010～2013 年のリターンはそれぞれ-2.70%、-1.20%と低調でした。ESG の 3 つの柱の中で、北米では環境ファクター、ユーロ圏では企業統治ファクターが最も優れたパフォーマンスを収めました。2015 年以降、社会ファクターは大幅に改善し、株価は良好に推移しています。総合的に見ると、ESG は全ての銘柄にインパクトを与えるのではなく、ベスト・イン・クラスおよびワースト・イン・クラス資産を左右する傾向があることを今回の調査は示しています。

因果メカニズムは需給ダイナミクスならびに ESG スクリーニングの本質的付加価値が生み出す好循環に関係しています。ESG アプローチに対する投資需要の拡大がパフォーマンスにインパクトを与え、それによってベスト・イン・クラスの株式に資金が流入し、ひいては株価とパフォーマンスを押し上げることとなります。モメンタムの成長ペース（年平均 12%¹）を踏まえると、こうしたトレンドは今後も続くと思われます。

ESG スクリーニングがポートフォリオ・リターンに与えるインパクトは、パッシブ運用についてもこれまでと同じく有効です。時価総額加重平均株価指数に照らして、投資家が追加的かつ抑制されたトラッキングエラーを許容するのであれば、パッシブ運用のフレームワークに ESG アプローチを組み込むことは良好な結果をもたらすと思われます。

2018 年 10 月、アムンディは責任投資に向けたコミットメント強化のための 3 カ年アクションプランを発表しました。これは 2021 年までに当社の全ファンドを対象に ESG 分析を導入し、環境または社会にインパクトを与えるプロジェクトへの投資を推進する取り組みです。ESG リサーチを改善・発展させることにより、アムンディは ESG 投資に関する大きな課題に対する投資家のより適切な理解を促すものと確信しています。

ティエリー・ロンカッリ（クオンツリサーチ ヘッド）は次のように説明しています。

「この新たな科学的リサーチによって、ESG パフォーマンスの時系列の変化を確認することができます。株価は需給バランスを反映することから、当社のリサーチは ESG スクリーニングが株式市場のパフォーマンスにインパクトを及ぼしていることを示しています。「非財務分析」ESG リスクが財務リスクとなり、資産価格モメンタムが ESG 投資家にとって有利に働いていることは明らかです。」

ヴァンサン・モルティエ（グループ副 CIO）は次のようにコメントしています。

「当社のリサーチは、欧州と北米において ESG 導入が株価パフォーマンスに目に見えるインパクトを生み出していることをはっきりと示しています。ベスト・イン・クラスの ESG アプローチを選好することにより、投資家はポートフォリオのパフォーマンスを長期的に向上させる投資戦略の恩恵を受けることができます」

メソドロジー

今回のリサーチは、当社の ESG リサーチ部が提供する ESG メトリクスを使用し、2010 年 1 月～2017 年 12 月の定量データに基づいています。各企業について、ESG アナリストが総合 ESG スコアおよび環境、社会、企業統治に関するレーティングを評価し、外部プロバイダー 4 社のデータに基づくスコアリングシステムを使用して各銘柄に格付けを付与しました。ESG アナリストは各社の最終スコアを検討した上で最終結果を出しています。

資料

[詳しくは、「ESG 投資と株式資産のプライシング：注目すべき結果」をこちらからご覧ください。](#)

¹ 出所: Global Sustainable investment alliance report 2017

アムンディについて

アムンディはフランス・パリに本拠を置き、世界 6 都市の主要な運用拠点^{※1}を通じて約 180 兆円^{※2}の資産を運用する、欧州 No. 1^{※3}、世界トップ 10^{※3}の資産運用会社です。2015 年 11 月ユーロネクスト・パリ市場に上場し、世界 37 の国・地域の事業拠点で競争力の高い運用ソリューションを提供しています。アムンディの一貫した目標は、日本でもグローバルでも、お客さま本位のビジネスの実行で、個人投資家および機関投資家に対し、革新的で透明性の高い運用ソリューションの提供に努めています。

信頼こそ、私たちの資産。 アムンディ

公式ウェブサイト：amundi.co.jp

- 1 主要運用拠点：ボストン ダブリン ロンドン ミラノ パリ 東京（アルファベット順）
- 2 運用資産額は、2018年12月末日現在。約1兆4,250億ユーロ、1ユーロ=127円で換算
- 3 出所：インベストメント・ベンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ400社（2018年6月版、2017年12月末の運用資産額）に基づく。

本件に関するお問合せ先：アムンディ・ジャパン株式会社 広報室

e-mail：pr@jp.amundi.com

直通：03-3593-5700

R1902103



商号等：アムンディ・ジャパン株式会社(金融商品取引業者)
登録番号 関東財務局長(金商)第350号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
日本証券業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会